

オスプレイ横田基地配備についての公開質問状
日本共産党都議会議員団の回答

1. 特殊作戦機C V22 オスプレイの横田基地への配備についてどう思いますか。

回答 反対

意見

オスプレイに対して、わが党は一貫して構造的欠陥を指摘し、その危険性を訴えてきました。昨年12月には沖縄県で墜落事をおこし、近年でも2014年10月のアラビア湾、2015年5月のハワイ、10月のカリフォルニア沖などクラスAの重大事故を頻繁に起こしてきました。横田基地の周辺三キロには、学校が30以上、40の保育園、20近い老人施設、3つの病院など、90以上の公共施設があり、昨年12月、沖縄で起こったオスプレイ墜落事故の様な事が市街地で起きれば大惨事となることは避けられません。

都は国とアメリカに対し、オスプレイの横田基地配備の撤回を強く求めるべきです。

2. C V22 オスプレイ配備問題について、東京都が横田基地周辺の住民に対して、説明する必要があると思いますか。

回答 必要がある

意見

質問1の回答のように、横田基地周辺には多数の学校や保育園、福祉施設があり、周辺自治体には51万人の方が暮らしている住宅密集地の中に基地があります。世界一危険と言われている普天間基地にまさるとも劣らない危険性の高い基地であると考えます。

構造的欠陥を抱え、重大事故を繰り返すC V22 オスプレイを配備には、多くの方が不安と事故の懸念を抱かれると思います。住民への徹底した説明が必要であると考えます。

3. 昨年12月13日の沖縄県普天間基地配備のMV22 オスプレイの墜落事故の後すぐに、横田基地をも使って飛行・訓練が再開されましたが、原因究明がされたと思っていますか。

回答 思っていない

意見

沖縄県での墜落事故についてはいまだに米軍による事故調査報告書すらまとまっていません。原因究明すらされないまま空中給油訓練を再開したことは住民を危険にさらす極めて重大な問題と考えます。

4. 東京都は「平成29年度国の予算編成に対する東京都の提案要求」において重点事項として米軍基地の整理・縮小、返還の促進を要望していますが、東京都のとりくみについてどうお考えですか。

意見

横田基地の現状は、米軍基地の整理・縮小・返還という方向とは逆に、日米新ガイドライン、安保法制のもとで、C-22 オスプレイ配備計画、F-35 ステルス戦闘機の整備拠点化計画などが進められ、実際にオスプレイがひんぱんに飛来し、パラシュート降下などの訓練も増えています。また、都の横田基地対策は石原都政以来、軍民共用化のゆがみが持ち込まれています。

日本共産党都議団は、歴代知事に対し、米軍基地の整理・縮小・返還というの方針を堅持して政府と米軍に強力に働きかけるよう求めてきました。小池知事も、今年3月の予算特別委員会でわが党の質問に対し「整理・縮小・返還に向けて取り組んでまいりたい」と答弁しました。この方向を強力に、具体的に推進するよう、引き続き強く求めていきます。

5. その他、横田基地についてのお考えをお聞かせください。

沖縄の普天間基地にまさるとも劣らない首都東京の住宅密集地の中にある横田基地によって、市民、教育施設や福祉施設は取り決めも守られず夜中にまで爆音に苦しめられていたり、事故の危険にさらされています。これまで航空機の緊急着陸や部品落下、大規模な火災などたびたび発生し、一步間違えば大惨事になりかねないと東京都も認めています。今年も横田基地所属のC-130Hの整備中に燃料漏れが発生しています。

住民の負担ははかり知れないものがあります。これ以上負担を負わせ、危険に晒すことは許されません。

横田基地はいち早くの整理・縮小・返還のために、今後も全力を尽くしてまいります。